

保護司さん対象 面談技術向上研修

～対象者との面談でSSTを活用しませんか～

平成30年11月1日

小城・多久地区保護司会

SST普及協会九州沖縄支部

SSTとは

- 社会生活技能訓練 といいます。



具体的なコミュニケーションスキルの使い方を学ぶ



自信の回復、人とのつながりが回復



生きる力を取り戻す

SSTを行う場所が増えています

- もともとは精神障がいをもつ人へのリハビリテーションメニューの一つです。
- アメリカで開発され、日本に紹介され30年が経ちます。

- ・ 精神科領域（病棟から地域支援まで）
- ・ 学校教育（普通学級・特別支援教育）
- ・ 知的・発達障がい・身体障がい
- ・ 刑務所・少年院・保護観察等
- ・ 虐待関係（児童相談所など）
- ・ 就労支援（様々なステージで）
- ・ ニート対策
- ・ 本人だけでなく周りの環境に対して（家族・雇用者・支援者など）



病気や障害があるから
行うのではなく、
人が生活していくうえで
大切な技能だから

研修の目的

- ① **SST**を知りましょう。
- ② 保護司の面接技能をより向上するために
SSTとして体験しましょう。
- ③ 保護観察対象者の技能を向上するための
面接場面で保護司が対象者に行う**SST**を
演習しましょう。



面談でこんな話題になったらSSTを

- 採用面接を受けます
- 出勤初日に何というか
- 仕事で何と言っていいかわからない
- 飲み会や借金の申し入れを断りたい
- 上司にお願いをしたい
- 家族との付き合いかた
(継母との会話、子どもとの会話)
- キレそうになった
- 対象者が遅刻してきた

保護司さんでの面談場面でのSST

- ①保護司がSSTできそうな話題に気づく
- ②保護司がSSTの提案
- ③一緒に場面をきめる
- ④対象者に行動リハーサルをやってもらう (ロールプレイ)
- ⑤保護司がよくできているところをほめる
(ポジティブフィードバック)
- ⑥さらに良くする点を一緒に考える (行動形成)
- ⑦必要なら保護司がお手本をみせる (モデリング)
- ⑧対象者にもう一度練習してもらう
- ⑨保護司が良くなったところをほめる
(ポジティブフィードバック)
- ⑩対象者が実生活のなかで練習する (宿題=過剰学習)
それが出来るように保護司が勇気づける

DVD:新聞面談 再

よいコミュニケーション

- ①視線を合わせる
- ②手を使って表現する
- ③身を乗り出して話す
- ④はっきり大きな声で
- ⑤明るい表情
- ⑥話の内容が適切

SST の大事なポイント

1 本人のよいところ(能力や長所)を伸ばす

対象者の問題があるところではなく、「今できているところ」「持っている力」に着目します。

本人の能力や長所を伸ばし、さらによくしていくという視点を持ちます。

2 やりとりを対象者にやってもらう学ぶ、やりとりを見て学ぶ

やり方を説明して教えるだけではなく、実際の場面を作ってやりとりを練習します。他者のやる行動を観察して学んで、自ら行動練習をします。

3 一方的に押し付けない 一緒に考えながら進める

ちょっと努力すれば、解決できそうな課題から、本人と一緒に考えながら取り組んでいきます。

DVD:カリスマ美容師

行動が変われば気持ちが変わる 気持ちが変われば行動が変わる

1番

人生楽ありや苦もあるさ

涙の後には虹も出る

歩いてゆくんだしっかりと

自分の道をふみしめて

2番

人生勇氣が必要だ

くじけりや誰かが先に行く

あとから来たのに追い越され

泣くのがいやならさあ歩け

幻の4番 3番

人生一つの物のなさ

後には戻れぬものなさ

明日の日の出をいつの日も

目指して行こう顔上げて

3番

人生涙と笑顔あり

そんなに悪くはないもんだ

なんにもしないて生きるより

何かを求めて生きようよ

演習1

対象者は、仕事にまじめに行っています。
面談の中で対象者は、「仕事に行って、自分が挨拶しても無視する奴がいて、腹が立つ」と言っています。

まずは、対象者の話を **傾聴** し、対象者の気持ちに **共感** します。

演習2

対象者は、仕事にまじめに行っています。
面談の中で対象者は、「仕事に行って、自分が挨拶しても無視する奴がいて、腹が立つ」と言っています。

まずは、対象者の話を **傾聴** し、対象者の気持ちに **共感** します。


SST を使ってみましょう。

おてみせて、言て聞かせて、
やらせてみて、ほめてやらねば
人は動かじ。

話し合い、耳を傾け、承認し、
任せてやらねば、人は育たず。

おている、姿を感謝で見守て
信頼せねば、人は実らず。

山本五十六

SSTは万能薬ではない

- 1 さまざまな支援のなかの1ツール
- 2 当然、SSTに向かない人がいます。
- 3 他人を変えるより、自分が変わるほうが早い

対象者の生きる力を取り戻すために

保護司さんの面談で取り入れてみませんか。
でも、今日だけ1回習っただけは不安ですよ。
もっと、一緒に学びませんか？
以下にご連絡ください。
佐賀県SST世話人：小松洋平(西九州大学)

SST普及協会のホームページ

<http://www.jasst.net/>

更生保護協会のホームページに

SST研修のコーナーがあります。